

第31回 緑の市民懇話会 会議録（要旨）

1 日 時 平成26年 3月 3日（月） 10:00～12:00

2 場 所 市役所 401・402 会議室

3 出席者

（委員） 久座長、下村委員、磯貝委員、稲葉委員、大鋸委員、倉品委員、児玉委員、林原委員、日高委員、山田委員、岩井委員、北島委員

（事務局） 中井みどり景観課長、川端みどり景観課課長補佐、中川花のまちづくりセンター所長、巽みどり景観課緑化推進係長、大澤みどり景観課

4 議事内容

1 開 会

2 案 件

（1）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

（2）その他

5 議事録

（1）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

[事務局説明]

・別紙「資料1-1」「資料1-2」「資料2」にて説明。

前回意見いただいた内容を盛り込んで（案）を作成。

＜応募要領（案）変更点＞

応募期間：4月1日から4月30日までとし、春の花を含めて審査の対象とする。応募用紙には、1年間の活動計画、現況又は春の状況写真を添付していただき、年4回（4月、7月、9月、11月）の活動状況を提出していただく。応募いただいた書類を基に現地審査（5月、8月、10月、12月）を行う。平成27年春に開催する“ふろーらむ春のイベント”において表彰を執り行う予定。

＜審査要領（案）変更点＞

1年を通じた取組を審査基準にし、年4回の現地審査を行う。現地審査個票を新たに追加し、各回の現地審査の結果は現地審査個票により取りまとめる。

[委員意見等]

＜審査要領の変更について＞

・審査要領について年に4回の現地審査があることで非常にハードルが上がった。（発言）

- ・自薦のみになっているが、奥ゆかしい方は応募されないので、他薦でもいいと思う。(発言)
- ・他薦の場合はただし書きに、「本人の了解を得る」を追加してはいかがか。(発言)
- ・現地確認に行くことを了解いただけるのかについても課題がある。(発言)

⇒応募用紙に「自薦」「他薦」、「他薦」の場合は「推薦者氏名」を記載すれば良い。自薦であれ他薦であれ、記入するのは本人である。より広く多く、応募のハードルを低くしていく方が良い。

- ・バラは5月なので、昨年度の写真でもいいのか。(発言)

⇒現地確認のための写真であって、写真審査ではない旨を記載する。

- ・資料に第7回とあるが、いつのことか分からないので、平成26年度の取組を表彰しますと追記してはいかがか。(発言)

・審査基準について、1年中花やみどりがいっぱいでなければならないというのではなく、1年を通じて維持管理がされているかである。誤解のないように文章を変えるべきである。(発言)

⇒目的や対象について、平成26年度の優秀な取組事例を表彰する旨の記載を追加するほか、応募要領の内容と統一する。審査基準についても修正する。

- ・現地審査員は班分けをして行くのか、若しくは見に行ける方が特派員として行くのもいいかもしれない。(発言)

<応募用紙が見やすいか、書きやすいかについて>

- ・コミュニティ部門では人数を書くところを追加するほうが良い。(発言)
- ・写真をたくさんつけると審査しづらいので、前年度の一番綺麗なものをつけるのはいかがか。(発言)

⇒応募用紙の写真については、審査要領と同様に写真審査ではなく、現地確認のための資料である旨を記載する。

- ・年に4回の現地審査は1年の幅が広いので、いつ頃が一番見ごろかを書く欄があればいいのではないか。(発言)

・年に4回の活動状況等報告書の提出をすると、負担が大きいのではないか。できるだけ提出物を少なくする方が良い。(発言)

⇒活動状況等報告書は、「随時状況を情報提示ください」程度にし、ないようであれば事務局から聞き取りをさせていただく。

- ・どういったPRの仕方にするか。(発言)

⇒応募要領を4月1日号の広報紙に掲載し、HPでも応募の用紙をダウンロードできるようにする。

- ・広報紙やHPに受賞者の声を載せるのが分かりやすく効果もあるかもしれない。(発言)

<現地審査個票の審査の書き方について>

・一回ごとになっていると前回はどうかであったかが確認できないので、時系列で一覧になっている方が良い。(発言)

⇒変更する。

(2) その他について

[事務局説明]

- 第5期 花とみどりの楽校（報告）

<次回の日程について、4月下旬頃を予定しているが、決まり次第連絡する>